



# ジオスペース館だより

## ★ 今月の星もよう ★

7月中旬の夜9時頃、春の星座たちは西へと移動し、南の空には夏の星座たちが広がっています。南の空の低いところから順に「さそり座」、その上に「へびつかい座」、さらに「ヘルクレス座」と並んでいます。夏の代表「さそり座」の心臓の位置で輝く真っ赤な星は1等星アンタレスです。そのアンタレスから北東方向の高い空に目を向けると、「こと座」のベガ、「はくちょう座」のデネブ、「わし座」のアルタイルという明るく輝く3つの1等星が見つかります。この3つの1等星を結んだ三角形が《夏の大きな三角》です。そして、日本では「こと座」のベガを《おりひめぼし》、「わし座」のアルタイルを《ひこぼし》と呼び、七夕の主人公の星として親しんできました。7月は梅雨の真っ最中ですが、晴れ間にはぜひ夜空を眺めてみてくださいね。



星図はステラナビゲーター11を使用して作成

## ★ 明け方の金星に注目！ ★

7月に入ると、日の出前の東の空に、明るく輝く金星が目にとまります。10日には、明るさが最大となる「最大光度」を迎え、マイナス4.5等に達します。これは1等星の100倍以上の明るさです。金星はこれからさらに高度を上げ、今年の年末まで、明けの明星として楽しむことができますよ。



### 6月21日の部分日食

豊川市でも部分日食が観察できました！



次回2023年4月20日の日食は、豊橋の海岸で、見えるか見えないかぐらいの程度しか欠けません。

## ★ 月が木星、土星、火星に接近！ ★



7月上旬の真夜中過ぎ、南の空には木星と土星が並び、東の空には火星が見えています。5日から7日にかけて、木星と土星に、満月過ぎの明るい月が近づきます。木星はマイナス3等、土星は0等で、月の光に負けず輝くようすが見られます。また、12日の明け方にはマイナス1等の火星と下弦の月が並び、美しい姿が楽しめます。

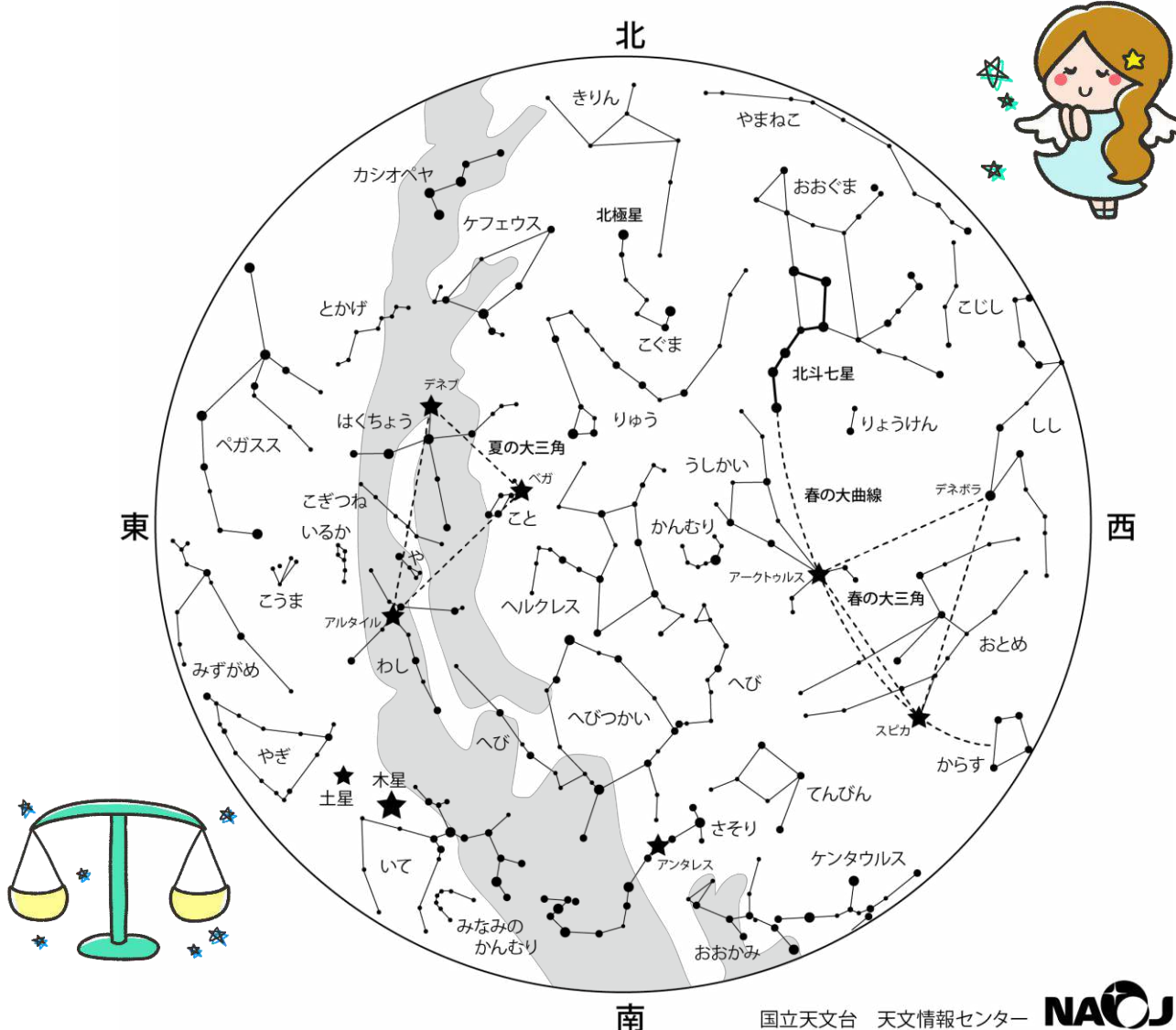
### ☆ 7月のプラネタリウムのご案内 ☆

平日	15:00~	ノーマン・ザ・スノーマン ~流れ星のふる夜に~ (字幕付)
土日祝・21日以降平日	10:30~	プラネタリウムちびまる子ちゃん それでも地球は回っている (字幕付)
	13:30~	新型コロナ対策のため、当面の間13:30の投影は行いません
	15:00~	ノーマン・ザ・スノーマン ~流れ星のふる夜に~ (字幕付)

☆プラネタリウムのお休み 7/6(月)、13(月)、15(水)、20(月)、27(月)~29(水)

☆新型コロナウイルス感染症対策で、入場定員を減らして投影しています。

# 7月上旬午後10時頃の星空



## ★ 7月上旬の主な天文現象

4日(土) C/2020 F3 ネオワイズ彗星が近日点通過、地球が遠日点通過	8日(水) 金星が最大光度 (-4.5等)
5日(日) 満月、月と木星が接近	12日(日) 月と火星が接近、金星とアルデバランが接近
6日(月) 月と土星が接近	13日(月) 下弦
7日(火) 小暑、七夕	

## ★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 7/1~15) ※ 下記時刻は、予想値です

◇ 7月 2日(木) [見やすさ ○]	2:37 北西	~	2:41 北北東
◇ 7月 3日(金) [見やすさ △]	1:51 北北東	~	1:53 北東
◇ 7月13日(月) [見やすさ △]	3:32 北	~	3:37 東北東
◇ 7月14日(火) [見やすさ ◎]	21:00 西南西	~	21:07 北東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。